

2163

絵本家宝袋

九下

絵本家宝袋九下



繪本寫寶袋九之事目録下

彌虞之圖 白虎あり

浪小海馬之圖

麋之圖 かまそく

麋之圖 かまそく

楮之羊之圖 のり

栢之麝香之圖 しやくかう

牝牛之圖 めうし

秋葵小強羊之圖 あきあいらつ

梅日牝牛之圖 ひめめうし

柳小牝牛之圖 やなぎめうし

谷水ノ一蛇之圖 いふみづ

多牛之圖 すいごう

柳之草畫 やなぎのくさ

柳之羶之圖 やなぎのろ

寫錦袋九

下

葉に狐之圖 はにきつ

冬萩之根之圖 ふゆあぎのね

白朮之圖 しろくすり

木賊小兎之圖 もくさくこ

しぐん
田林の懐み
書く
が
白虎なり

騶虞

お
尾乃より
長し



海馬

ツエソクイニル
圖繪宗彙二出



寫錦袋九

廿四

初



寫錦袋九

廿五

鹿 かのろ
 状の角羊尾 須側して長く 多角なり
 大さ小るのあぐ 若質白班 牡の角や小なり
 左班を 若白の毛多 難く 夜は背赤く 毛をわく 冬は背若
 細く 鼻ふいごしく 首筋とく ぐくびと云 耳新角り 角あり
 角の又と二の若かり 二の若かり
 わまの若かり ぬめつらと云
 名わり 背若と若尾に於る
 尾のうづゆく
 わのひらむを云
 むくら尾と云
 尻大なる
 尾向く
 尾むき
 後大さかり



仕立下若と具あり
 合若と下若 若より なるなり
 若すとや 下若なり なるなり
 中 若とんと 付なるなり
 若すとや 若とや なるなり
 同の若のなりなり
 ぬめつら
 のふらなるなり
 のふらなるなり
 若のさなるなり
 後若なるなり
 ごらんなるなり
 鼻九なるなり
 なるなり
 のなるなり
 なるなり
 なるなり
 なるなり



麋

麋は穀物を用糧の皮と云
 形羊に似て鬣中々大なる其の
 角のぞく所時々角と云ふもの
 枝よかけしやと
 角羊の角と云ふ
 大なるはす
 毛々々たるは
 有と云ふらる



麝香

麝は麝の如く小なり其の香は
 麝香の如く小なり其の香は
 麝香の如く小なり其の香は
 麝香の如く小なり其の香は
 麝香の如く小なり其の香は
 麝香の如く小なり其の香は
 麝香の如く小なり其の香は
 麝香の如く小なり其の香は
 麝香の如く小なり其の香は
 麝香の如く小なり其の香は
 麝香の如く小なり其の香は



麝香の如く小なり其の香は
 麝香の如く小なり其の香は
 麝香の如く小なり其の香は
 麝香の如く小なり其の香は

猪小羊

猪小羊 猪文は白羊の字に角は猪の形小羊
 猪の皮を以て皮衣を製す羊裘といふ久白のり
 長毛は服のり 猪羊裘
 猪小羊の皮衣のり 猪羊裘
 猪の皮を以て皮衣を製す羊裘といふ久白のり
 長毛は服のり 猪羊裘



猪の皮を以て皮衣を製す羊裘といふ久白のり
 長毛は服のり 猪羊裘

猪の皮を以て皮衣を製す羊裘といふ久白のり
 長毛は服のり 猪羊裘



綿羊
ひくひく

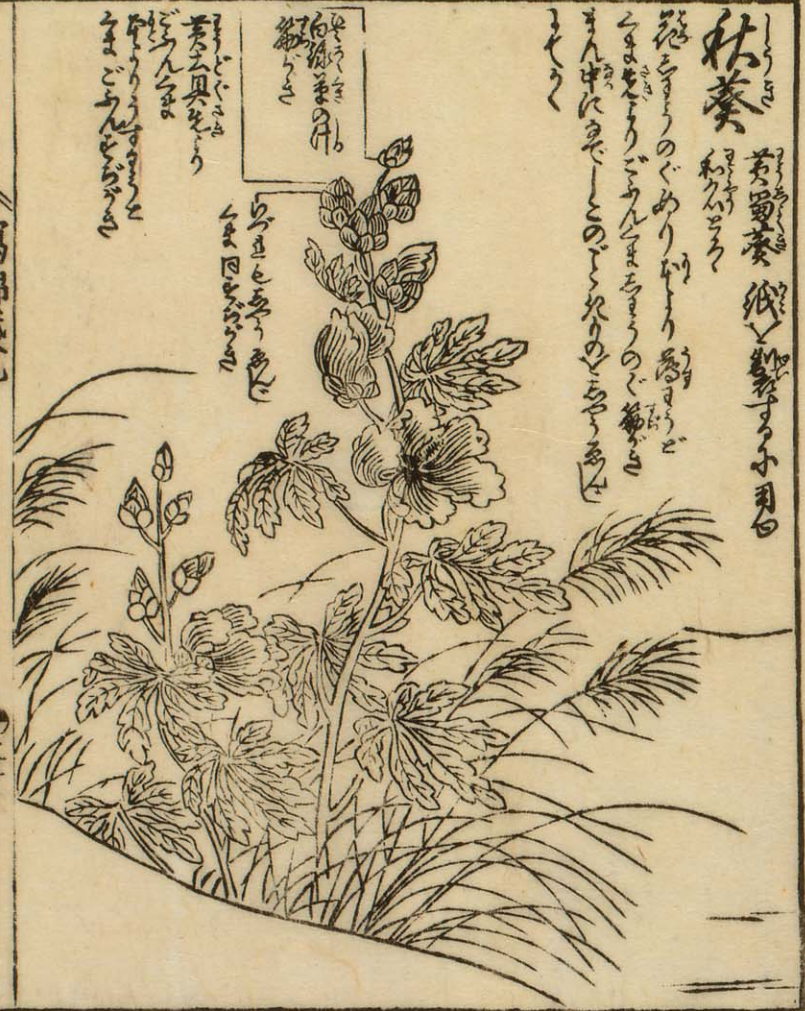
綿羊の毛は
白く長くあり
俗に綿牛といふ
羊の毛をいふ
白く長くあり
黒くあり
角が中より
毛は白くあり
毛は黒くあり
毛は白くあり
毛は黒くあり



秋葵

秋葵の葉は
若葉をいふ
花は赤くあり
葉は緑くあり
葉は赤くあり
葉は緑くあり
葉は赤くあり
葉は緑くあり
葉は赤くあり
葉は緑くあり

秋葵の葉



秋葵の葉
秋葵の葉
秋葵の葉
秋葵の葉
秋葵の葉
秋葵の葉
秋葵の葉
秋葵の葉
秋葵の葉
秋葵の葉

牛

周禮謂之太牢

史記爲四蹄

純色曰犧黑榆上

白牛犛上云赤牛犛

云駸上曰鑿銀眼牛

貴牛壯者曰牯曰犛

曰犛曰犛牝者曰擊

曰犛

老牛八節之老謂之

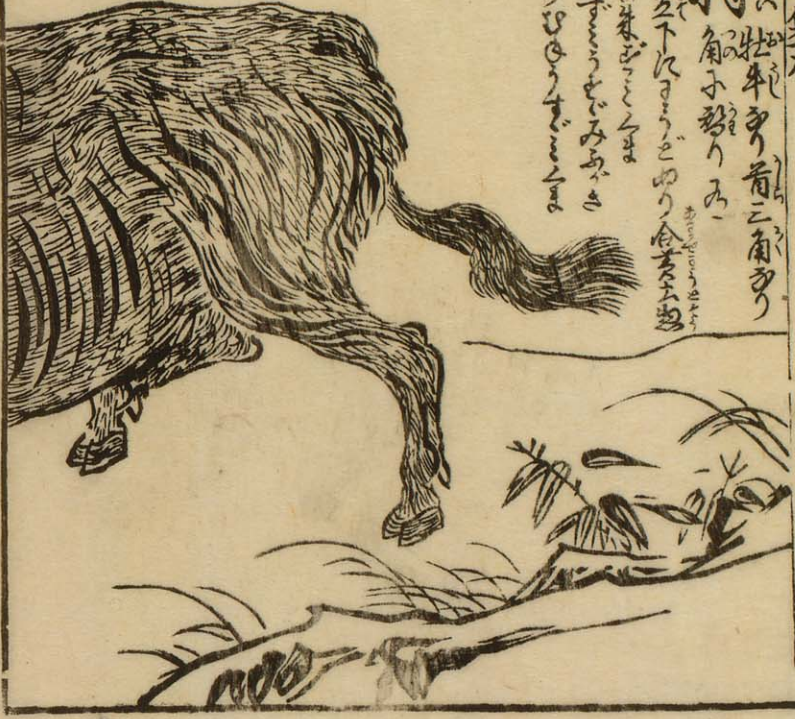
獸曰一佐獸勝羣

の形也牛八勝羣

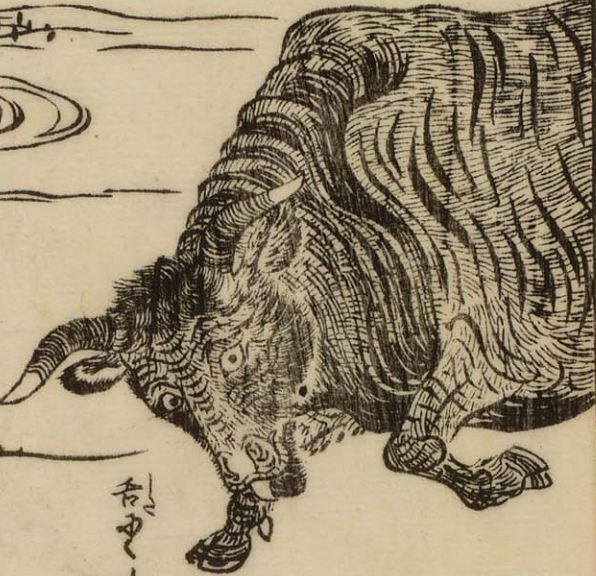
卵の形と摸せり

虎猫と亦堅りす

特 牛角より角二角あり
仕立下はりうとゆり合ふる



牛齒下はりて下
中耳聾して鼻代
鼻さく耳の形枕把
鼻のわくする時なほ小
牛犛は所より
る記のれは鼻は先
一 脚は後足先
了ん湯小は先あり
牛の記明は後足先
は外したる鼻足先
少は後足先あり
面は鼻の所より
牛の公を廻りて上と
也但る牛の角は同
色毛を角は廣良
物牛は重乳牛は輕



吾や一と

冬 荻 小 猿
ふゆ とう こと ざる



柳 牝 牛
やなぎ の こと ぎゅう

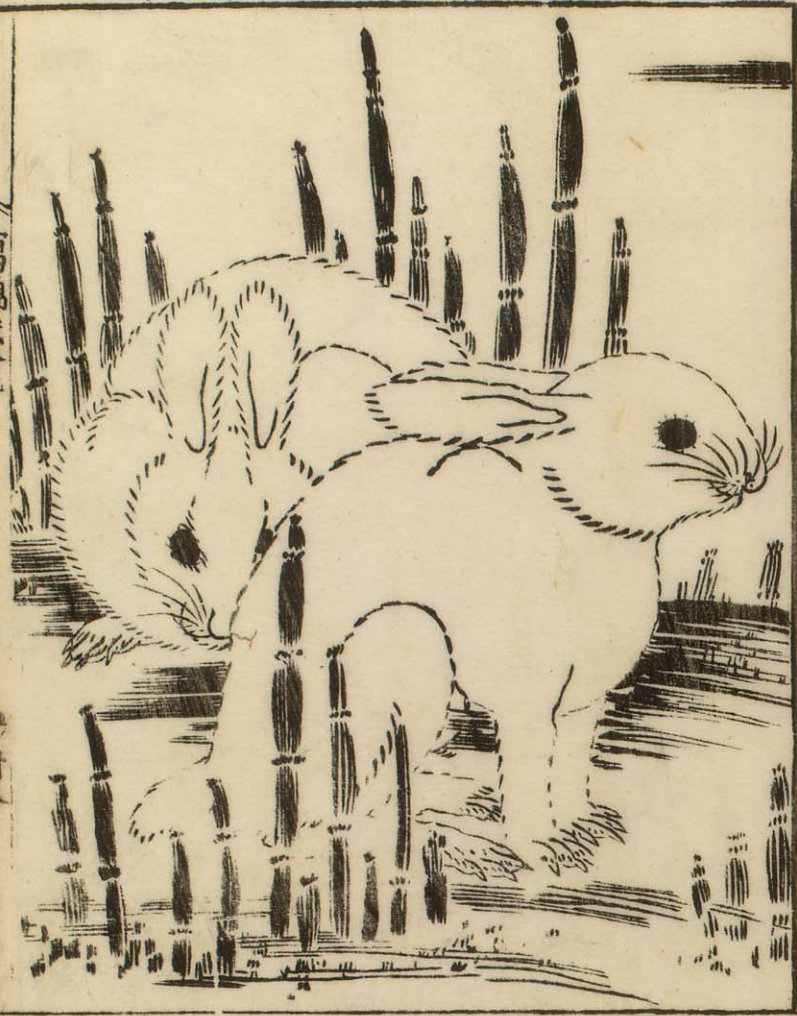


菊小狢

形小狢は
細く
若赤文あり
尾大あり

新白狢あり





木賊小鬼
とろろ
うさぎ

くく
白鼠
あり種あり
仕立
ごらん
生きた
同く
目赤



再刻寫寶袋附言

寫宝袋の書々々家父壯年於
 筆作ありて寶袋画亦乃至宝袋
 然ふ末季日及々間々歎漏と福の
 互謄写し以て自切差隊磨此切
 を樂免るに抑此書世々行つ終て
 茶室おと歴る及院小五十有餘年

今又書林滋川氏乃需尔應一
先人晚季の定本と用い
以て再校多し四方より弘
く

明和七年寅年孟春

法眼保國謹識



皇漢洋今古書籍新古翻譯書類自家積
年發兌ヒル者ト具集藏密ニ充棟載車
キノミナラズ品位精工價程清廉以テ四方君子
愛願ヲ待ツ

東區南久寶寺町四丁目

阪府書籍老舖 前川善兵衛

